

ハート・オブ・ゴールド

通信



vol.42

2020年1月15日発行

発行 / 編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川 895-7
レジデンスアロー 101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail: hginfo@hofg.org
https://www.hofg.org/



茨城大学吉野教授の評価ポリシー検討ワークショップ



タイ研修、授業視察での教育省次官補のスピーチ



プール維持管理研修会



完成したプール (25mX15m) とポンプ室 (後方)

【日本 NGO 連携無償資金協力事業】 国立体育・スポーツ研究所 (NIPES)

体育科コース 4 年制体育科コース 12 月開講！

プロジェクト・マネージャー 手束 耕治

2019年1月より開始した本事業ですが、目標である4年制大学の開講に必要なカリキュラムフレームワークやアドミッションポリシー、評価ポリシー、シラバスといった文書や制度の基盤整備、新しいカリキュラムに従った授業ができる教員や4年制大学としてのマネジメントができる職員の育成、そしてプール建設による設備の充実といった成果を達成することができました。

5月以降、具体的には、「カリキュラム内容検討ワークショップ」を4回（うち1回はPutra Malaysia大学のLian Yee Kok教授を招へい）、「評価ポリシー・ワークショップ」を1回（茨城大学の吉野聡教授を招へい）、「教員マッチアップワークショップ」を1回、「体育科コース運営ハンドブック作成ワークショップ」を1回、「体育教員育成ワークショップ」を1回開催しました。カリキュラム策定では、当初2回しか計画していなかったワークショップでしたが、内容がなかなか決まらず5回も開催することになりました。さらに、8月23日から8月29日に「タイ研修」を実施し、カンボジアから4名（教育省次官補1名、NIPES3名）が参加し、タイの3つの大学の体育科授

業の視察及び今後の人材育成・交流事業における協力について意見交換を実施しました。体育関連での学位がまだとれないカンボジアでは、タイをはじめとしたASEAN諸国との協力によるNIPES教員の学士・修士取得は必ず必要になってきます。



NIPES 所長以下6名の日本体育大学での大学運営研修

また、11月14日から23日には「日本研修」（日本体育大学を視察）を実施し、NIPES所長以下6名が参加し、4年制大学の運営について研修しました。

9月15日にはプール建設も完了し、10月4日、5日に「施設管理のためのワークショップ」の実施をもって、施設譲渡契約書を交わしてプールをNIPESに正式に譲渡しました。今後はワークショップに参加したNIPES職員が交代で維持管理を担当します。

10月4日に教育省大臣よりカリキュラムフレームワークの承認が下り、12月からの準備が整い、いよいよカンボジア初の4年制体育科コースの1年目が開講しました。今までの2年制とは異なるより質の高い充実した大学での授業内容が求められるため、NIPESとハート・オブ・ゴールドは、その質を高めるための授業評価や教員育成ワークショップを実施していきます。

今後の予定は体育科コースを試行的に運営しながら、12月に「体育科コース運営ワークショップ」を開催し、NIPESの4年制大学として必要なマネジメント体制への移行を進めます。また、NIPESでの授業をモニタリングし、適切な授業が実施されているかを定期的に確認しながら、授業の質を上げていくよう進めていきます。

来年以降は実際の授業を通じてシラバス等の授業関連文書の改訂、授業の質の向上を図り、4年制大学としての新しいマネジメント体制の定着を図るとともに、プール周辺とジムルームの建設、ジム等のトレーニング機材の整備を行い、教育環境のさらなる充実を図ってまいります。

【JICA 草の根技術協力事業】

カンボジア王国 中学校体育科教育指導書完成

プロジェクト・マネージャー 西山 直樹

2017年1月から、JICA 草の根技術協力事業にて、教育・青年・スポーツ省（以下、教育省）と共に作成してきた中学校体育科の指導書が、9月16日に教育省大臣から承認され正式に完成しました。

9月17日に実施した中学校体育科指導書完成式典では、教育省よりスポーツ総局副総局長のメル・カド氏、JICA カンボジア事務所から菅野祐一所長が出席し、プノンペンのモ

デル校3校の先生方と共に、この指導書を利用した新しい体育の普及が重要であることが確認されました。

引き続き行われたワークショップでは、早速新しい指導書を用いた体育の年間計画、単元計画、指導案作成の説明を行い、その後、実際に作成した指導案に基づき、体育授業を実践しました。ワークショップ初日には、読み方が分からなかった指導書ですが、ワークショップを通じて、



完成した指導書（7年生、8年生、9年生）をスポーツ総局長へ贈呈（2019.10.21）

決められた授業の指導案まで、作成することができるようになりました。

最も重要なことは、先生方が生徒達に学習指導要領、指導書に記載された内容について教えていけることです。しかし、指導書の内容を年間計画、単元計画、指導案にまで記載できても、それを実際に教えるのが難しく、多くの指導経験を積んでもらいたいと思いました。

本事業は2020年9月まで続きますので、今後は先生方の授業のモニタリングや新しい体育の指導法についてのワークショップを実施していきます。



指導書完成式典の様子（2019.9.17）

カンボジア王国 高校体育科本邦研修

サブ・プロジェクト・マネージャー ケオ・ソチエトラ

教育省のスポーツ総局や学校体育・スポーツ局の9名とハート・オブ・ゴールド東南アジア事務所の西山所長と私は、10月23日から30日にかけて、岡上で研修しました。研修目的はカンボジア王国の高校体育指導書を作成するためです。

研修先は岡山県立倉敷天城高等学校、同岡山工業高等学校、同岡山一宮高等学校、岡山大学でした。

2006年から、小学校の新しい体育教育がカンボジアに入り、楽しい

体育の授業が始まっています。2016年から、中学校の生徒達も新しい体育の授業が始まり、たくさんのスポーツの経験をしています。

2018年からは、教育省は予算をとって、独自で高校体育の普及を始めました。2018年6月に高校体育指導要領が認定され、今後高校の生徒達にも新しい体育の授業を受けさせたいと考えています。高校体育では、生徒達が自分の好きなスポーツを選び、そのスポーツに親しみ、生



涯スポーツにつながってほしいと考えています。2019年9月に中学校の体育指導書が認定された経験を活かし、今後、研修に来た人達を中心に、カンボジア王国高校体育指導書を作成する予定です。

【JICA 草の根技術協力事業】

ハート・オブ・ゴールド × JICA

「カンボジアの体育科教育支援から学ぶ国際協力」

プロジェクト・マネージャー 西山 直樹

8月10日にJICA 地球ひろばにて「カンボジアの体育科教育支援から学ぶ国際協力」として報告会を実施しました。ハート・オブ・ゴールドから代表理事の有森裕子と東南アジア事務所長の西山直樹、日本体育大学から岡出美則教授がそれぞれ報告

をいたしました。

58名の方々にお越し頂き、ワールドカフェ形式という、参加者にも議題が与えられ、グループごとに考える形式で実施したため、皆さん主体的に参加し、活発な意見交換がなされました。



チェイ小学校に健康手帳を！

事業部長 井上 恭子

ハート・オブ・ゴールド（以下、HG）は2001年からチェイ小学校内に日本語教室をスタートさせ、多くの子ども達が日本語を学んできました。その後、遊具やスポーツ施設、浄水器、トイレなど設備支援や、運動会、保健指導、日本の学生達との交流など様々な活動を行ってきました。2006年にニュー・チャイル



ド・ケアセンターが同地区に移転し、ますます関係が深くなりました。2015年からは毎年TAO 東洋医学研究会の歯科医ボランティアチームが全校歯科検診と虫歯予防教育を実施。この蓄積された記録を活用し、また、虫歯予防だけでなく健康についての知識を身につけ、自分の体を知って大切にしてほしいという願いから「健康手帳」の作成が始まりました。岡山学芸館高校SGHゼミ生も企画段階から参加し、現地で校長先生をはじめ、現場の先生の意見や要望をヒアリングしてきました。また、HGが実施している体育科教育から体力測定も取り入れ、さらにカ



ンボジアで活動している（公財）国際開発救援財団（FIDR）の協力も得て、栄養についての内容も盛り込むことができました。

健康手帳の完成後は、先生方への測定（計測）方法の伝達と、児童がそれぞれの内容や測定結果を理解できるように指導会の開催を予定しています。今後もよりよい形にしていくなために、積極的に更新をしていきます。

「カンボジア王国 スヴァイリエン州バサック中学校雨天体育施設」

東南アジア事務所長 西山 直樹

1年の半分が雨期であるカンボジアにおいて、雨天体育施設が建設されることにより、学校はより年間計画に沿った体育授業を実施できるようになります。

教育省からの依頼により、ハート・オブ・ゴールド通信でお願いしたところ、藤沢ロータリークラブ様、大光電機様よりご支援をいただき、ス



ヴァイリエン州のバサック中学校に、雨天体育施設を建設することができました。

バサック中学校は、2017年から新しい体育を始めましたが、体力測定を率先して実施したり、自分達で卓球台を作成したり、新しい体育に取り組む姿勢が評価され、建設校となりました。

9月26日には、藤沢ロータリークラブの椋梨兼彰様にスヴァイリエンにお越しいただき、贈呈式を実施いたしました。教育省からもスポーツ総局長のセティエット氏が出席



され、生徒達も200名近くが参加する盛大な式典になりました。式典の後には、早速生徒達がバレーボールをプレーし、「雨が降っても体育・スポーツができるからとてもうれしい」といった声を聞くことができました。

資金が集まれば、今後も2校目、3校目の雨天体育施設の建設を進めたいと思っています。

「第24回アンコールワット国際ハーフマラソン」

プロジェクト・オフィサー 米山 遥香

毎年、大会は12月第1日曜日に行われていますが、アンコールワットで行われる別の式典と重なるため、2019年は第2日曜日の12月8日の開催となりました。

今回は85の国・地域より12,175人（外国人4,602人、カンボジア人7,573人）が参加しました。カンボジア人の参加が年々増えており、以前よりもスポーツや健康に関心が集

まっていることがうかがえます。今年は消防・救急救命等を中心に活動するカンボジア国軍のRRC711部隊が派遣され、昨年よりも大会の安全対策がより強化されました。

また、ハート・オブ・ゴールドが支援する障がい者63名が大会に参加しました。昨年よりも増え、より多くの障がい者がスポーツに参加するきっかけを作ることができました。



姉妹マラソンである「かすみがうらマラソン」に今回も有森賞として優秀な成績を収めた2名の障がい者ランナーが選抜され派遣される予定です。

「第25回アンコールワット国際ハーフマラソン」は2020年12月6日（日）開催！

ハート・オブ・ゴールド 20周年記念式

20年を超えて行け！

10月28日（月）、大阪工業大学梅田キャンパス OIT タワー 21階「レストラン翔」にて、賑やかに開催いたしました。

ハート・オブ・ゴールドの設立に関わられた個人・団体、企業の皆様が多くいらっしゃる大阪の地で開催できたことが嬉しく、また、多くの方にお集まりお祝いしていただきましたことに心より感謝致します。当

日は、HG 日本語教師ナムオイと留学生スライホーム、そしてカン

ボジア教育・青年・スポーツ省からスポーツ総局長セティチエット氏をはじめ、日頃ともに活動している9名の方にもご出席いただきました。有森代表の挨拶から始まり、活動報告や20周年表彰、そして20年間



を写真でふりかえりました。その後、懐かしい方々との再会に話はずきませんでした。

特別協賛：学校法人常翔学園

協力：OHK岡山放送

（司会：萩原渉氏）

HG 代表 有森 裕子

1996年アトランタオリンピック直後に、内戦を終え平和を迎えたカンボジアで、地雷の廃絶と被害者支援を目的としたチャリティマラソンを開催するので、走ってほしいと声をかけられました。それが、第1回アンコールワット国際ハーフマラソンでした。私自身、皆様に応援され、支えられてきた人間として、「走ること」を通して社会の役に立てることをうれしく感じました。1998年に組織として多くの人達とともに、国際貢献、社会貢献を続けることが重要だと考え、ハート・オブ・ゴールドを立ち上げました。

世界遺産アンコールワットの中を駆け抜ける大会が、世界から認知され、地雷被災者を支援し、そして最終的にカンボジア人によって国際レースができるように人材育成することを目的に進めました。

16カ国、参加者645人で始まった大会が、今では、85カ国、12,000人以上の参加者で世界中から愛されるマラソンとなりました。そして、この大会から障がい者、子ども達に多くの支援が続けられています。2013年第18回大会を機に、すべての運営を現地に移譲し、当初の目的を果たしました。今では名誉会長として、毎年参加しています。

先月HG20周年記念式を迎えて、懐かしい多くの方々と来た道を振り返り、これからの道を思いめぐらしました。20年の間には困難なことも多くありましたが、毎回問題と向き合って、とことん話し合い、コミュニケーションを大事に決して諦めないで続けたことが、人を変え、自分をも変えていったように思います。

20年前は、スポーツを通じての開発活動は、世界的にもほとんど関心が持たれていませんでした。また、カンボジアもスポーツ・体育科教育どころではありませんでした。毎年、マラソンや青少年スポーツ大会を継続することで、子ども達に、スポーツマンシップ、フェアプレイ、協力する楽しみ、がんばる心などが育まれることが見えてきて、カンボジア教育省の人々が体育科教育の実施を強く願うようになりました。

人も、世界も変わります。継続は力なり。すべては私の力となり、喜びとなっています。

ともに活動してくださった方々、ご理解、ご支援してくださった方々に感謝して、20年を超えて進んでいきたいと思ひます。皆様もぜひご参加ください。



HG 事務局長 田代 邦子

1997年3月に、第1回アンコールワット国際ハーフマラソン（以下、AWHM）の写真展&有森代表のトークショーの開催を岡山で引き受けて、その年第2回AWHMに参加しました。内戦一歩手前という緊張した年で、2人の首相（ウンフォト第1首相とフンセン第2首相）が並んで、大会に参加し遺跡を走った光景は、まさにスポーツがなせる平和構築を目の前にした光景でした。1998年10月10日に大阪でハート・オブ・ゴールド設立総会に、結城さんの言われるままに事務局長として動いておりました。

有森代表の諦めない粘り強さと、できると信じて進むことが心地よく、ひたすら前に進みました。不思議なことに、難問や課題が出てきても、そのときどきにそれを助ける人が現れて、解決できました。

奇跡を何度も見る事ができました。人の善意に何度も出会いました。権力や富以上にすばらしいもの、心の金メダル（ハート・オブ・ゴールド）を輝かせている方々に出会いました。

NPO・NGOの活動は、これからの持続可能な社会を作っていくために、何が大切なのかを考えて、少しずつこの世界を変えていく仕事です。世界は不平等で矛盾に満ちています。チャンスがない人に、チャンスが与えられ、笑顔になり、力強く起き上がり、歩んでいく姿は私の生きる力となりました。結城さんに感謝です。

20年の活動のふりかえり



アンコールワット国際ハーフマラソン



東ティモール独立記念マラソン



小学校体育科
新しい教育の
はじまり



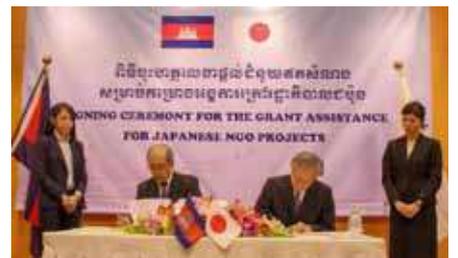
教育者主導による運動会



中学校体育指導書ワークショップ



ニューチャイルドケアセンター
(ハート・ペアレント)



体育科四年制大学設置プロジェクト



障がい者陸上競技支援



3.11 東日本大震災 子ども animo プロジェクト



日本語教室生徒の岡山学芸館高校 留学



かすみがうらマラソン障がい者ランナー招へい



7.7 西日本豪雨子ども animo プロジェクト



MOMOTAROU
日本語学校



国際理解教育 (スカイプ交流)



国際理解教育 (出前授業)

ニューチャイルドケアセンター (NCCC)

シニア・アドバイザー 村上 貴美子

NCCCでは現在、高校2年生を筆頭に6歳までの16人(男子6名、女子10名)が、家庭的な雰囲気の中でのびのびと生活しています。そのうちの1名(スライホーム)は今年の9月から1年間、日本語・日本の文化等を勉強するため岡山学芸館高校に留学しています。



ジャンケン列車で交流

最初にうれしい報告をいたします。チェイ小学校では新学年の最初の日(11月1日)全学年の成績1位

から3位の生徒達を表彰していただきます。今年度5年生の成績1位でNCCCのスライミエン(新学年6年生)が表彰されました。本人の努力はもちろんのこと、皆様の日頃のご支援のおかげです。他に子ども達の出来事として、昨年学芸館高校に留学していたスライニットが日本語能力試験N3を取得して帰国、高校2年生に復学しました。ニットの留学期間中のご支援に感謝するとともに、引き続きホームのご支援をよろしくお願いいたします。

新学年に際して子ども達の動向にも変化があります。成長していくにつれ、NCCCの本来の目標である「自立」に向けた第一歩を歩みだすこととなります。

退所後、私達スタッフも側面から見守っていきたいと思っております。



子ども達と給食

最後になりましたが、今年下半期も多くの方々がNCCCをご訪問くださいました。7月31日北海道の高校生ハイエックの皆様から始まり、高校生、大学のゼミご一行、HGスタディツアーなどご訪問いただいた方々から様々なことを学ぶことができました。養護施設という限られた中での生活経験から、いかに一般社会に向けて自立生活に向かうかが施設の子供達にとって大きな課題です。皆様のご訪問がその一端を担ってくださっていることと感謝しております。今後ともこの小さなセンターNCCCをよろしくお願い申し上げます。

シェムリアップ日本語教室

日本語教師 渡邊 格

日本語教育事業では、新しく1月より「MOMOTAROU日本語学校」をシェムリアップ新事務所内に開校し、授業をしています。現在は午前2クラス、午後2クラス教えています。学生兼社会人という人達がほとんどで、日本語を学ぶことで、将来の仕事の幅を広げたいとの思いで励んでいます。チェイ小学校日本語教室では、新学期に向けて新しく



生徒を募集しています。またNCCCでもノッチ先生のもとで子ども達も

一生懸命勉強しています。日本語教育事業では日本語を教えるだけでなく、現地カンボジア人の日本語教師の養成も大きな目的の一つです。これまでナムオイ、ティアラの二人が日本語教師としてトレーニングを受けて、今では立派に教師として教壇に立っています。初級(『みんなの日本語I、II』)はすべて教えることができるようになりました。ナムオイは9月～11月まで、日本語教師研修のため、岡山外語学院にて短期留学をしました。

【国際県国際貢献ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業】

岡山での研修を終えて

日本語教師 カン・ナムオイ

8月の終わり、暑い岡山に着いて外国で初めての一人暮らしに心配しながら短期研修が始まりました。岡山県、岡山県国際交流協会、岡山外語学院、ハート・オブ・ゴールドの皆様が、親切にやさしく、いろいろ教えてくださいまして本当に集中して研修ができました。3か月はあっという間で、もっともっと勉強したい気持ちです。日本語能力がかなり上がった

たのでびっくりしました。カンボジアに帰国して、12月1日の日本語能力検定試験の本番も頑張ります。

日本語教師として必要な言葉遣いや態度、教材作成、さらに、日本文化、日本人の考え方や働き方、チームワークでの情報共有、役割分担など多くのことを学びました。

この研修で学んだことや体験したことを、国に帰って青少年や子ども



達に教えて、地域の人々の役に立ちたいです。研修で学んだことは忘れられない思い出となりました。今の私があるのは、ハート・オブ・ゴールドのご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

台風 15 号・19 号の被災地支援活動報告

日本警察消防スポーツ連盟事務局長 志澤 公一
ハート・オブ・ゴールド理事

- ・活動月日：2019 年 9 月 14 日～12 月 21 日
- ・活動場所：千葉県鋸南町

ハート・オブ・ゴールド（以下、HG）は、今年 9 月、千葉県に大きな被害をもたらした台風 15 号の被災地支援活動を日本警察消防スポーツ連盟（以下、連盟）と協力して始めました。本支援活動への呼びかけに、募金を承り心からお礼を申し上げます。



発災直後に連盟チームが被災地に入り危険を伴う専門の特殊ボランティアを行いながら、現場のニーズを上げ、今回は台風により破壊された屋根を覆い、風雨から家財を守るための防水シートや、倒木などで生活に支障をきたす瓦礫の撤去に必要なチェーンソーなど、資機材の購入に充てさせていただきました。

今回の支援場所は千葉県下でも高齢化が進んだ鋸南町としました。台風 15 号、続く台風 19 号と被害は拡大し、当初施したブルーシートは剥がれたり破れたり再度の張り直し。聞けば年金ぐらしでリフォームは事実上困難な高齢者多数の中、耐久性の低いブルーシートより高額ではあるものの、三年以上の耐久力を持つシルバーシートを使用しました。不断の活動にてだいぶ対処できましたが、災害弱者にフォーカスしてシルバーシート張り工法は 12 月 21 日まで継続して実施しました。

皆さまにはご寄付のご報告といたします。

第 9 回親子チャリティマラソン in おもちゃ王国

9 月 28 日(土)、約 280 名の参加者が途中で給水しながらゴールを目指し、元気に汗を流しました。女子サッカーの吉備国際大学



Charme 岡山高梁の選手をゲストとして迎え、毎年ランナーの先導を行うインラインスケートチーム ALIVE、岡山学芸館高校と玉野商工高校からボランティアの生徒達も参加しました。この大会からの寄付で、カンボジアの小学校へ合計 28 基の鉄棒（2011～18 年）を設置しています。

主な活動報告（2019 年後半）

- 7/2 アニモの会（代表、岡山市）
- 7/9 東京北ロータリークラブ講演会（代表、東京）
- 7/31 北海道国際交流・協力総合センター NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 8/2 東京西ロータリークラブ講演会（代表、東京）
- 8/10 HG × JICA「カンボジアの体育科教育支援から学ぶ国際協力」（代表、東京）
- 8/26 スライホーム岡山学芸館高校に留学（岡山市）
- 8/28-11/26 ナムオイ岡山外国語学院で研修（岡山市）
- 8/30 HG 福島クラブ総会（福島市）
- 8/29 神戸学院大学スタディツアー NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 9/1 HG 長岡クラブ総会（長岡市）
- 9/4 大阪大谷大学スタディツアー・ブノンペン事務所受入れ（ブノンペン）
- 9/26-27 島根大学スタディツアー NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 9/28 親子チャリティマラソン in おもちゃ王国（代表、玉野市）
- 9/29 愛知県立大学スタディツアー NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 10/20 つづける私のケンコー宣言ブース出展（岡山市）
- 10/22-31 カンボジア高校体育科指導書作成本邦研修（岡山市）
- 10/28 20 周年記念式（代表、大阪市）
- 11/8 ランプロ シューズ贈呈式（代表、岡山市）
- 11/12 倉敷平成ライオンズクラブ例会（ナムオイ、倉敷市）
- 11/15-23 NIPES 4 大化本邦研修（東京）
- 11.25 ナムオイ岡山県庁にて研修修了式（岡山市）
- 12/5-9 HG スタディツアー（シムリアップ）
- 12/8 アンコールワット国際ハーフマラソン（シムリアップ）
- 12/8 奈良マラソンブース出展（代表、奈良市）
- 12/9 奈良トヨタ活動資金寄贈式（代表、奈良市）
- 12/12 カンボジア体育教育支援物資贈呈式（岡山市）
- 12/15 山陽女子ロードレースブース出展（代表、岡山市）
- 12/15 岡山学芸館高校 SGH、岡山大学、NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 12/21 岡山学芸館高校 SGH、岡山大学、チェイ小体力測定（シムリアップ）

主な活動予定（2020 年前半） 変更あり

- 1/20 岡山学芸館清秀中学校 NCCC 受入れ（シムリアップ）
- 3/10 だがしの日共催イベント（倉敷市）
- 3/22 第 10 回淀川マラソン（代表、大阪市）
- 4/19 かすみうらマラソン 兼国際ブラインドマラソン 2020(代表、土浦市)
HG 東日本会員交流会（代表、東京）
- 5 月 2020 Arimori Cup（代表、むかわ町）
- 5 月 第 36 回みしま西山連峰登山マラソン大会（代表、長岡市）
- 6 月 第 10 回アニモの会（代表、岡山市）
- 6 月 HG 総会・理事会・会員交流会（代表、岡山市）

第 9 回アニモの会

7 月 2 日（火）、ホテル グランヴィア岡山 4 階「フェニックス」にて、岡山の企業経営



者の方やスポーツチームから 139 名が参加し、アニモの会が盛大に開催されました。有森代表よりハート・オブ・ゴールドの活動として NCCC の改修工事と NIPES4 年制大学化事業について報告し、岡山在郷のスポーツチーム 7 団体も今期の成績や今後の目標を熱く語られ、多くの人の応援を求めました。スポーツの力で岡山を盛り上げようと参加者の方とともに再認識した時間となりました。

第 38 回山陽女子ロードレース大会

12 月 15 日(日)、人見絹江杯 10km、有森裕子杯ハーフマラソンといった岡山を代表する女子マラソンランナーの名を冠した大会です。今年も、ハート・オブ・ゴールドは、ブース出展（出店）し活動の広報を行いました。

続ける。続けるために。

続ける。誠実であることを。

日々、課題に向き合い、応える。

続ける。協力し合うことを。

尊重し合い、多様な知恵と技術で成し遂げる。

続ける。イノベーションすることを。

しなやかに発想し、挑戦する。

本当に大切なことが続くために。

私の“続ける。続けるために”。

すべての人が安心して水を飲め続けるよう
浄水場内の水圧変化に目を光らせて続けていきます。

滝沢浄水場 運転・維持管理 副責任者 上田 明人

メタウォーターグループは、地域企業とともに会津若松市 滝沢浄水場更新整備等事業を担っています。

水・環境インフラを地域とともに支え続ける。

METAWATER

メタウォーター株式会社

www.metawater.co.jp